

○中部地方整備局では、平成20年から産学官による「建設ICT導入普及研究会」(会長:中部地方整備局長 会員426者)を設置し、現場見学会等の普及活動を実施するとともに、昨年度より「i-Construction」の取り組みについて積極的に進めています。
○今年度は、「ICTのハードルを下げる」という活動方針のもと、既にICT活用に取り組んでいる国道42号 熊野尾鷲道路(Ⅱ期)の建設現場において“現場技術体験会”を開催し、実際に使用される機器を用いて、最先端のICT技術を体験しました。
○当日は、雨天にもかかわらず、約90名もの非常に多くの方に体験していただきました。

概要

- 日時:平成29年8月4日(金) 13:30~15:30
- 開催場所:三重県尾鷲市(国道42号 熊野尾鷲道路(Ⅱ期)建設現場)
- 主催者:建設ICT導入普及研究会 技術普及チーム(事務局 企画部施工企画課)
- 見学会内容:
 - 1.主催者挨拶
 - 2.事業概要説明
 - 3.技術体験
 - ①UAV(無人航空機)・レーザスキャナによる地形測量
 - ②MC・MGバックホウ、MCブルドーザ、TS/GNSSを用いた盛土の締固め管理
 - ③座学(3次元設計データ作成、3次元出来形管理)
 - ④無人化施工バックホウの見学
 - 4.ICT導入なんでも相談会
- 参加人数:参加者約90名、事務局約25名 ※総勢約115名



技術体験 座学

